

科目名	基礎医学から始まる臨床医学への理解（生理から考える内科学）
-----	-------------------------------

担当 責任者	長澤 康行	所属	総合診療内科学	職名	准教授
-----------	-------	----	---------	----	-----

到達目標 (アウトカム)	臨床内科学で基礎医学がどう役立っているかを知ること、 医学の学習意欲を増進させる
-----------------	---

【1. 授業概要】

<p>本講座では、生理学・薬理学・免疫学などの基礎医学が、実際の臨床医学にどのように応用され、生かされているかを学ぶことを目的とする。具体的には、腎臓の生理学や、腎臓に働く薬剤の薬理学の復習からスタートし、腎臓内科の臨床の病態の理解や治療としての薬剤使用法にどのように反映していくかを学んでいく。基礎医学は、臨床医学を支える非常に重要な土台となるが、臨床との結びつきを想像するのが難しく、積極的に学ぶ気持ちが低下しやすい。しかし、きちんと基礎医学を理解しないと臨床の理解も不十分になり、単なる丸暗記に陥りやすい。基礎医学と臨床医学のかかわりを理解していくことで、基礎医学・臨床医学を学ぶ気持ちを高めていく。</p> <p>とりあげる基礎医学的なテーマとしては、体液組成・圧利尿曲線・酸塩基平衡などで、これとかかわる臨床的なテーマとしては末梢輸液・降圧療法・血液ガス・低ナトリウム血症・血液透析などである。基本的にはレクチャーとなるが、授業の中で設問を設けるので（多くは選択問題）、挙手等で答えることで理解の確認を行う。</p>

【2. 履修学生の心構え】

<p>基礎医学的なところから、臨床医学的な所まで知識が無いことを前提にすすめますので、予習は不要です。</p> <p>授業の中で、設問を設け質問をしますので挙手等で積極的にお答えください。</p> <p>また、毎回終了時に確認の小テストを行いますので、これもきちんとお答えください</p> <p>基礎的なことから講義はスタートしますが、臨床まで繋がりますので、それなりに難しい内容も含まれますので、頑張ってください</p> <p>体感できることも、講義の中で含めたいと思います</p>
--

【3. 成績の評価方法・基準】

<p>毎回の小テスト、および確認テストと発展的な課題、授業への積極的参加を総合して行う。</p> <p>毎回の小テストは、きちんと授業を聞いていたら出来る内容です（この小テストは、国家試験にも役立つ内容です）</p> <p>確認テストの回を休む場合は必ず予め連絡すること</p>

【4. 教科書・参考書】

持っている生理学の教科書をお持ちください

【5. その他 履修要件、履修者へのコメント等】

授 業 計 画

実施日	時 限	講義・実習内容	担 当 教 員		
			氏 名	職 名	所 属
4/24	水 5	体液組成と末梢輸液 この講義では抹消輸液を飲んでみてもらいます	長澤 康行	准教授	総合診療内科学
5/1	水 5	末梢輸液と利尿薬	長澤 康行	准教授	総合診療内科学
5/8	水 5	低ナトリウム血症の鑑別診断	長澤 康行	准教授	総合診療内科学
6/12	水 5	小問集と論文を読んで考える課題 (この回が評価に占める割合が大きいです)	長澤 康行	准教授	総合診療内科学
6/19	水 5	圧利尿曲線と降圧薬の違い この講義では、血圧測定を体験してもらいます	長澤 康行	准教授	総合診療内科学
6/26	水 5	細菌学と抗生剤の使い方	長澤 康行	准教授	総合診療内科学
7/3	水 5	免疫学とIgA腎症	長澤 康行	准教授	総合診療内科学
7/10	水 5	透析療法、ナトリウムの移動の観点から 各回の小テストと、論文を読んで考える課題 の解説を行います	長澤 康行	准教授	総合診療内科学

